

公益社団法人 東京生薬協会

平成 29 年度

(2017年4月1日~2018年3月31日)

事業報告書

平成 30 年 6 月 21 日

I 平成 29 年度 事業報告

■ 1 号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その 1）

生薬、薬用植物に関する知識や情報の啓発により、国民の健康増進に寄与する事業を実施した。

1) 薬草観察会 (学術委員会)

① 春の薬草観察会

- ・開催日：平成 29 年 5 月 13 日（土）10:00～15:00
- ・場 所：皇居東御苑
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、南雲清二、鈴木幸子(敬称略)
- ・参加者：62 名
- ・参加費：無料（保険料 100 円）

② 秋の薬草観察会

- ・開催日：平成 29 年 10 月 15 日（日）10:00～15:00
- ・場 所：東高根森林公園（川崎市）
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、南雲清二、鈴木幸子(敬称略)
- ・参加者：31 名
- ・参加費：無料（保険料 100 円）

2) 薬草収穫感謝の会 (総務委員会)

- ・共 催：東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、本町生薬会
- ・開催日：平成 29 年 11 月 11 日（土）10:00～15:00
- ・場 所：東京都薬用植物園
- ・講 師：南雲清二（星薬科大学名誉教授）
- ・演 題：忘れられた薬用植物園 ー旧陸軍衛生材料廠薬用植物園ー
- ・参加者：120名受講
- ・植物園見学参加者：85 名
- ・入園者：1,005 名（対前年比 76%）
- ・記念品配布者数：400 名（花の苗 400 鉢、お土産袋 400 袋）

3) 第 33 回 生薬に関する懇談会の開催 (学術委員会)

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催した。

- ・共 催：日本生薬学会関東支部、公益社団法人東京生薬協会
- ・開催日：平成 29 年 12 月 2 日（土）12:55～18:15
- ・会 場：東邦大学薬学部
- ・テーマ：麦門冬（バクモンドウ）
- ・参加人数：254 名
- ・参加費：3,000 円、懇親会費：2,000 円

4) 薬用植物・生薬に関する講座

(学術委員会)

会員及び国民を対象に、薬用植物や生薬に対する基本的知識を提供することにより、薬用植物・生薬、薬用植物園などに幅広く興味をもっていただけるよう、開催した。

- ・テーマ：生薬・漢方からのセルフメディケーション
- ・開催日：平成 29 年 9 月～平成 30 年 1 月の日曜日 (5 回シリーズ)
- ・参加費：1 回 2,500 円 ・参加者合計 326 名(対前年比 99%)

開催日	12:30~14:00	14:15~15:45	参加者数
【第1回】 9月24日(日)	貝原益軒に養生を尋ねる 東京生薬協会 学術委員会委員長 山内 盛 先生	虚弱と漢方 聖マリアンナ医科大学 客員教授 崎山 武志 先生	66
【第2回】 10月29日(日)	漢方製剤の品質管理について 株式会社ツムラ[ポルト]コミュニケーション室長 鈴木 登 先生	冷えと漢方 ヨシコクリニック 院長 高木 嘉子 先生	54
【第3回】 11月26日(日)	日本文化から見る、生薬としての笹 蓼科笹類植物園 理事長 大泉 高明 先生	心の養生法Ⅲ 青山杵渕クリニック 院長 杵渕 彰 先生	58
【第4回】 12月17日(日)	漢方処方に使われる薬用植物についてⅡ 東京理科大学薬学部 准教授 和田 浩志 先生	エキス漢方の応用 東海大学医学部 教授 新井 信 先生	71
【第5回】 1月21日(日)	薬膳による養生の世界Ⅱ イスクラ産業株式会社 品質保証課長 原 三貴 先生	日常、よく見る症候に対する漢方治療 医療法人社団 金匱会診療所 所長 山田 享弘 先生	77

5) OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動

(事務局)

- ・主 催：(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、
日本一般用医薬品連合会(日本OTC医薬品協会、日本家庭薬協会)、
(公社)東京都医薬品登録販売者協会
- ・後 援：厚生労働省、東京都、日本商工会議所、東京薬科大学
- ・協 賛：くすりの適正化協議会
- ・開催日：平成 29 年 10 月 20 日(金)～21 日(土)
- ・会 場：(第 1 会場)福徳の森、(第 2 会場)江戸桜道り地下歩道
- ・出展社：29 社
- ・内 容：模擬店舗、アンケート調査、クイズラリー、e健康ショップ、検体測定室、
健康チェックコーナー、調剤体験コーナー、懐かしいくすり展
セルフメディケーションデータベースセンター、薬剤体験コーナー

6) 会報の発行 (7月、1月)

(広報委員会)

- ・生薬や薬用植物に関する最新情報や薬用植物園に関する情報を提供し、また協会の活動状況をお知らせするために年2回発行し、会員及び大学、関係団体等へ配布した。
- ・発行部数：450部

7) 協会ホームページの更新

(広報委員会)

- ・ホームページでの「お花の見頃情報」や「最新イベント情報」「薬用植物国内栽培事業」などを随時更新した。
- ・協会に関する基本情報についても更新した。
- ・「新常用和漢薬集」は11生薬を新規掲載し、128生薬を公開した。
また、第17局改正第1追補の発行に伴い6種について記載の見直しを行った。

・ホームページへのアクセス状況

期 間	訪問数	ユーザ数	ページビュー数
2016/04/01-2016/09/30	45,642	28,586	120,569
2016/10/01-2017/03/31	33,679	22,525	85,859
2016(平成28年)年度合計	79,321	51,111	206,428
2017/04/01-2017/09/30	71,482	47,648	166,499
2017/10/01-2018/03/31	52,431	35,080	118,434
2017(平成29年)年度合計	123,913	82,728	284,933
下期 前年同期比	155.7%	155.7%	137.9%
年間 対前年比	156.2%	161.9%	138.0%

8) ふれあいガーデン事業(参加者合計：459名 対前年比 100.4%) (事業管理委員会)

東京都薬用植物園ふれあいガーデンの実施

- ・平成29年度は、薬用植物園のサービス向上を目的として、「東京都薬用植物園ふれあいガーデン共同事業体」(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、北部緑地(株)の3者共同事業体にて、園内400㎡を対象に薬用植物に関連した事業(下記のイベント等)を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	参加者数
4月	8日(土)	薬膳でますます元気	近藤 美春	35
	15日(土)	ハーブ 春風とともに	小泉 美智子	30
	22日(土)	春 薬草小宇宙	池村 国弘	63
5月	27日(土)	生き生きグリーン・リース	田淵 清美	29
6月	3日(土)	夏 薬膳の楽しみ	近藤 美春	58
	17日(土)	暮らしの中の香り アロマ	鈴木 悦子	22
7月	8日(土)	クールハーブ	小泉 美智子	28

10月	7日(土)	草木のいのちを染める	山 浩美	29
	21日(土)	ハロウィン アレンジ	田淵 清美	30
11月	4日(土)	落語に見る食の風景 その2	一升亭吞介	60
	18日(土)	冷えとあったか手湯	小根山隆祥	29
	25日(土)	風邪に負けるな 薬膳	近藤 美春	46

9) 新常用和漢薬集の改訂

(学術委員会)

ホームページ上の新常用和漢薬集に掲載されている生薬を日本薬局方(17局)と照合する作業を実施し、改訂作業を実施した。

11品目追加し、公開品目数は、128生薬となった。

■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動(その2)

【東京都薬用植物園受託事業】

(事業管理委員会)

東京都薬用植物園の管理事業の全面委託に伴い、今までの実績を生かして薬用植物や生薬に対する知識・情報を国民に対し正しく普及し啓発する活動を積極的に実施した。

1) 東京都薬用植物園の事業管理

(1) 東京都薬用植物園の総合案内を行った。

窓口対応：開園時間帯における来園者対応：1,074件

電話対応：開園時間帯における電話等照会対応：1,050件

園内管理：土、日、祝日対応：116日

年間来園者数：127,828人(対前年比102.15%)

(2) 栽培補助業務(標本栽培区、温室、育苗その他)：延べ1,471人/年

(3) 調査研究、鑑定、鑑別補助作業(ケシ、アサ、サボテン類、違法ドラッグ、トウゴマ等農作業補助、データ整理、文献調査、計測等の補助業務)：

延べ521人/年

(4) 普及啓発事業(詳細は各項)：34日間実施、参加者数：2,317名

協会の応援人数延べ：45人

(5) 印刷物等作成

植物園案内パンフレット 10,000部

写真で見る絶滅危惧種植物 5,000部

「四季の薬草」パンフレット 10,000部

ケシ鑑別マニュアル 0部

種子交換リスト 0部

講習会等の参加者用資料、掲示用ポスター類 2,325部

野外展示用ラベル及び立て札 91枚

ケシ講座他 2,000部

(6) 東京都薬用植物園建物・施設の管理

保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等

栽培管理：沿道植栽樹木、病害虫駆除、通路の草刈等

清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等

警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・アサ栽培区等

2) 普及啓発・研修業務

(1) 薬草教室の開催（会場：東京都薬用植物園）

薬草教室を年間8回実施した。合計参加者：797名（対前年比98%）

来園者数：3,872名（対前年比101.6%）

	開催日	講演内容	講師(敬称略) (所属)	参加者数	来園者数
1回	4月14日(火)	江戸の人が野草から育てたさくらそうの楽しみ	鳥居恒夫(さくらそう会世話人代表)	62	562
2回	5月22日(月)	食べられる薬草	磯田進(昭和大学薬学部)	141	575
3回	6月20日(火)	植物観察再入門～葉について～	和田浩志(東京理科大准教授)	115	620
4回	7月12日(水)	植物と音	福原博篤(㈱I-アール代表取締役)	82	382
5回	8月22日(火)	夢の植物を作る	三位正洋(千葉大学名誉教授)	90	403
6回	9月20日(水)	ストレス社会と漢方	新井信(東海大学医学部准教授)	114	551
7回	10月17日(火)	園内林地や近郊で見られる野鳥	吉澤政夫(東京都薬用植物園元職員)	88	278
8回	11月16日(木)	頭痛の漢方治療	大野修嗣(大野クリニック院長)	105	501

(2) 薬草観察会の開催（講師：東京都薬用植物園職員）

① 春の薬草観察会

平成29年5月13日(土) 皇居東御苑 62名

② 秋の植物観察会

平成29年10月15日(日) 東高根森林公園(川崎市) 31名

(3) 薬草の普及啓発講座（合計参加者：914名 対前年比96%）

平成28年度は以下のような薬用植物に関する普及啓発講座を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	協会	草屋舎	参加人数
4月	8日(土)	薬膳でますます元気	近藤美春		○	35
	15日(土)	ハーブとともにある暮らし	小泉美智子		○	30
	22日(土)	光と風の中の薬草四季	池村国弘		○	63
5月	1日(月)～19日(金)	ケシのパネル展	展示	○		—
	6日(土)・7日(日)	ケシのミニ講座	薬用植物園職員	○		171
	27日(土)	生き生きグリーン・リース	田淵清美		○	29
6月	3日(土)	夏 薬膳の楽しみ	近藤美春		○	58
	17日(土)	暮らしの中の香り アロマ	鈴木悦子		○	22
7月	8日(土)	クールハーブ	小泉美智子		○	28

	23日(日)	薬草クイズラリー	東京生薬協会	○		115
8月	9日(木)	夏休み親子植物教室	中山麗子	○		26
10月	7日(土)	草木のいのちを染める	山 浩美		○	29
	22日(土)	ハロウィン アレンジ	田淵 清美		○	30
11月	4日(土)	落語に見る食の風景 その2	一升亭 吞介		○	60
	18日(土)	冷えとあったか手湯	小根山隆祥	○		29
	25日(土)	風邪に負けるな 薬膳	近藤 美春	○		46
12月	12日(火)	木の実・草の実リース作り教室	中山 麗子		○	40
2月	9日(金)	健康講座	東京薬事協会と共催		○	103

(4) 研修業務の実施

東京都が主催する薬事監視員、警察、薬学生、医学生対象の研修会を補助した。

	対 象	開催回数	対象者数
①	ケシ特別講座	15回	1,093名
②	薬務、保健所等研修	6回	49名
③	警察、薬防協等研修	29回	643名
④	学生研修	9回	197名
⑤	日本薬剤師研修センター漢方認定研修	2回	49名
⑥	一般(団体)指導	4回	134名

3) 薬用植物の栽培

① 薬事監視業務の一環とし、ケシ、大麻の栽培補助、農作業補助を行った。

② ケシ、大麻以外の薬用植物の栽培管理、農作業全般を行った。

場 所：東京都薬用植物園

期 間：通年

4) 薬用植物の収集、保存及び展示

東京都職員の指示により行った。

① 種子交換：種子調整・整理、交換リスト作成、種子の受付発送を行った。

② さく葉作成：種の同定、さく葉の作成、リスト作成、保管整理を行った。

③ 生薬標本の作成：種の同定、標本作成、リスト作成、保管整理を行った。

④ 資料館に薬用植物の標本類の展示及びラベルの整備を行った。

5) 鑑定、鑑別補助

東京都職員が行う植物鑑定、鑑別試験のために必要な、文献調査、資料の提供及び鑑別用標本の購入保管を行った。

■ 2号事業 生薬、薬用植物等の栽培、育成等に関わる活動

1) 薬用植物栽培説明会の開催

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 開催日：平成29年6月28日(水)
場 所：岐阜市・JAぎふ西郷支店
内 容：『GACP解説』
講 師：小谷 宗司(信州大学特任教授)
参加者：15名
- ② 開催日：平成29年8月28日(月)
場 所：秋田県八峰町
内 容：『GACP解説』
講 師：小谷 宗司(信州大学特任教授)
参加者：10名
- ③ 開催日：平成29年8月29日(火)
場 所：秋田県美郷町
内 容：『GACP解説』
講 師：小谷 宗司(信州大学特任教授)
参加者：10名

■ 3号事業 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動

1) 日本薬局方原案検討委員会に係る活動

(学術委員会)

- ① 生薬等(A)委員会：4月，6月，9月，12月に開催、山路氏・神本氏(ツムラ)が参加。生薬等(B)委員会：5月，7月，10月，12月，1月，3月に開催、武田氏(ツムラ)が参加。各委員会の議事メモが学術委員会に報告され，試験法案の追試等の対応がなされた。
- ② 第十七改正日本薬局方第一追補、2017年12月1日告示
事前に行われた意見募集に寄せられた意見に関する内容を確認した。
- ③ 第十七改正日本薬局方第二追補、2018年3月1日付意見募集
改正に向けて，TLCによる確認試験改正，qNMRを用いた標準品の確認試験改正等について情報提供した。
「PMDAのHPに下記の改正に係わる意見募集が発出された。改正案については確認試験(TLC法)等について，加盟会社で追試し，結果・意見を生薬等委員会に提示した。主な3月意見公募は下記のとおり。

[試薬・試液]

- ・薄層クロマトグラフィー用サイコサポニンaの規格
- ・定量用サイコサポニンd の規格
- ・薄層クロマトグラフィー用(Z)-リグスチリド試液(*)

*本試液は対象となる生薬及び処方エキスの各条に反映される。

[各条]

- ・呉茱萸湯エキス(新規収載)

- 薄層クロマトグラフィー用(Z)-リグスチリド試液収載に伴う各条の記載整備
乙字湯, 葛根湯加川芎辛夷, 加味帰脾湯, 加味逍遙散, 十全大補湯,
トウキ, トウキ末, 当帰芍薬散, 防風通聖散, 補中益気湯, 抑肝散

- 重金属規格の改正

シコン, シコッピ, ボウフウ, (コロンボ, コロンボ末)

- 確認試験の改正

苦味チンキ, センブリ, センブリ末, センブリ・重曹散, ゴオウ

- 参考情報

遺伝子情報を利用する生薬の純度試験

カラム情報 (医薬品各条(生薬等))

[その他] 日本薬局方インフォメーション投稿

「シュクシャ」の基原植物の改定経緯: 生薬学雑誌 Vol.72, No.1 (2018)

④ 日本薬局方外生薬規格2018 (2018年秋通知予定)

武田氏, 神本氏 (ツムラ) が参加: WG 5回 (5月, 7月, 8月, 11月, 1月)
本委員会 2回 (9月, 2月)

- 記載整備

シンコウ (学名), メリロートエキス (定量法)

- 新規収載

生薬及び末

ガジュツ末, ショテイシ, ニクズク末, ハンピ

単味生薬エキス

チョウトウコウエキス, イカリソウエキス, ショウキョウエキス

- その他

単味生薬エキスのヒ素規格

⑤ 漢方処方の原案作成WG

当協会として, JP17以降の収載候補品目の全てについて審議に参加 5月, 8月,
11月, 3月に実施

山下氏 (常磐植物化学研究所), 神本氏 (ツムラ) が参加: 4回

⑥ その他

第2回日中薬局方 (生薬等) 検討会

日 時: 2017年11月26日

場 所: ホテルグランヴィア京都

協会からは武田氏, 神本氏, 山路氏 (ツムラ) が参加した。

2) 生薬栽培地視察と情報収集活動の実施

① 美郷町にて薬用植物栽培地の視察と記念植樹を実施した。

- 開催日: 平成29年10月8日(日)~9日(月)
- 見学地: 記念植樹(ホオノキ植樹)、薬用植物栽培地見学
- 講演: 『薬樹の森・平場の森・薬用樹木について』

- ・講師：和田 浩志先生（東京理科大学薬学部准教授）
- ・交流会：薬用植物等の栽培地等の意見交換
- ・参加者：6人

3) 薬用植物国内栽培の実施

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 秋田県八峰町薬用植物試験栽培
試作品目：ウイキョウ、カミツレ、キキョウ、シャクヤク、セネガ、トウキ
- ② 秋田県美郷町薬用植物試験栽培
試作品目：カンゾウ、キキョウ、ノイバラ、ボウフウ、ホオノキ
- ③ 新潟県新発田市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、カラスビシャク、ハッカ、シャクヤク、カンゾウ、カワラヨモギ、オケラ、クロモジ
- ④ 新潟県新潟市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、カラスビシャク、ハッカ、シャクヤク、オケラ、カンゾウ、オタネニンジン、シソ、カワラヨモギ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、オウレン、ハマボウフウ、コガネバナ、ヨロイグサ
- ⑤ 福井県高浜町薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、カラスビシャク、シャクヤク、オケラ、ハマボウフウ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、ゲンノショウコ、オウレン、ゴシュユ、コウホネ、カノコソウ、カンゾウ、センブリ
- ⑥ 岐阜県岐阜市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、シャクヤク、オケラ、カワラヨモギ、アミガサユリ、ジオウ、ジャノヒゲ、キキョウ
- ⑦ 大分県杵築市薬用植物試験栽培
試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、センキュウ、シャクヤク、カラスビシャク、オケラ、コガネバナ、カワラヨモギ、ジャノヒゲ、キキョウ、カノコソウ、ケイガイ、ハナスゲ、ベニバナ、サフラン、ムラサキ、キバナオウギ、イカリソウ、ケイリンサイシン、メハジキ

4) 薬用植物栽培連携協定自治体との合同会議

(薬用植物国内栽培事業委員会)

- ① 第一回薬用植物栽培連携協定自治体との合同会議
 - ・開催日：平成 29 年 11 月 9 日(木)～10 日(金)
 - ・連携協定を締結している全国 7 自治体の担当者 17 名と、協会からは会長を始め栽培指導員 14 名における合同会議を実施した。
 - ・交流会：薬用植物等の栽培地としての可能性等の意見交換
 - ・各自治体からは、収穫・加工機械類の紹介、データを多用した栽培管理、合理的な播種・育苗技術、病虫害対策、栽培組織、国や県の補助金の活用など多様な内容で報告がされ、意見交換がなされた。

- ・2日目は実際の医療現場における生薬の利活用について知見を深めるため、北里大学東洋医学研究所を視察した。小林義典先生からは最新の科学的品質評価について解説を頂き、及川哲郎先生他関係部署の先生からは生薬の調剤現場等の案内と説明を頂いた。
- ・参加者：協会側：15人(藤井会長、末次専務、栽培指導員)
自治体側：17人(八峰町、美郷町、新発田市、新潟市、岐阜市、高浜町、杵築市)

■ 4号事業 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動

1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修 (学術委員会)

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるよう、さらに協会活動により積極的に協力頂くようフォローアップ研修を実施した。

① ケシの見学・研修

東京都薬用植物園ケシ柵内での見学、研修室での座学研修

- ・開催日：平成29年5月11日(木)
- ・参加者：12名

② 株式会社太田胃散 茨城工場

- ・開催日：平成29年11月25日(水)
- ・参加者：23名

■ 5号事業 その他、本会の目的達成に必要と認める事業

■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換を図る目的で実施した。

1) 賀詞交歓会の実施 (事務局)

- ・開催日：平成30年1月29日(月)
- ・会場：神田明神・明神会館
- ・出席者：108名

2) 薬用植物生け花展・標本展の実施 (事務局)

「薬と健康の週間」(東京都)行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力して実施した。

- ・開催日：平成29年10月17日(金)
- ・会場：昭和薬貿ビル2F直会会場
- ・2階直会会場に出展した。(3社、5人)イワキ(株)、興和(株)、草屋舎
- ・出展：薬用植物説明パネル及び種子標本を展示した。
- ・参加者：2,500名

3) MCMIA (現代化中医薬国際協会) との交流

(事務局)

- ・平成 29 年 8 月に香港で開催された展示会 ICMCM で東京都薬用植物園、薬用植物国内栽培事業のポスターを掲示し、先方幹部との情報交換を行った。
- ・訪問先：ICMCM 展示会場、衛生局訪問

II. 総会、理事会、委員会等開催

総会	2回	6月	3月			
理事会	2回	5月	3月			
会計、業務監査	1回	5月				
総務委員会	2回	4月	2月			
総務WG	1回	2月				
収穫祭 WG	1回	9月				
学術委員会	5回	4月	6月	10月	12月	2月
広報委員会	4回	6月	8月	10月	2月	
事業管理委員会	4回	4月	9月	12月	2月	
薬用植物国内栽培事業委員会	4回	4月	9月	11月	2月	

III. 会費、会員数及び平成 29 年度入退会

1. 会 費 : 会員 138 名 (9,011 千)
2. 期首会員数 : 142 名
3. 期末会員数 : 138 名
4. 入 会 (7 件 : 個人正会員 3 件、サポーター 4 件)
個人正会員 : 菊地祐一、田辺衛之、飯田修
サポーター : 4 名
5. 退 会 (11 件 : 法人正会員 4 件、個人正会員 5 件、サポーター 2 件)
法人正会員 : エバー・セル・システム (株)、(株)紀伊国屋漢薬局、(株)メルコテクノ横浜、(株)一本堂
個人正会員 : 大岡政一、星幸男、京條英征、鈴木覚章、赤須通範
サポーター : 2 名

以 上